

広島市歯科医師会だより



10月号

No.186 (R4.10.12)

Hiroshima City Dental Association

目次

注目!

予告 広島市歯科医師会 クリスマスパティー.....1 ページ

行事報告

令和4年度 広島市歯科医師会保険講習会.....2 ページ

広島市歯科医療福祉対策協議会 役員会.....2 ページ

広島市歯科医療福祉対策協議会 総会.....3 ページ

支部だより

中区支部.....4 ページ

南区支部.....5 ページ

西区支部.....6 ページ

会史等編纂特別委員会

ちよっとイイ話.....8 ページ

休日診療保険請求における留意事項について(総務部).....8 ページ

SRP 時の浸潤麻酔に代わる除痛法(学術部).....9 ページ

厚生部のニューフェイス紹介(厚生部).....10 ページ

学校歯科健康診断における歯式について(地域歯科保健部).....11 ページ

労働安全衛生法に基づく歯科健康診断時の結果報告書が変更になります(地域歯科保健部).....12 ページ

会員ひろば

新入会員紹介.....13 ページ

各部からの報告

広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起こっていますー(総務部).....13 ページ

元気じゃけんひろしま 21(第2次)推進会議「次世代の健康づくり部会」及び
「健康づくりを支える社会環境整備部会」(地域歯科保健部).....14 ページ

元気じゃけんひろしま 21(第2次)推進会議 「生活習慣病予防部会」及び
働く世代の健康づくり部会(地域歯科保健部).....14 ページ

元気じゃけんひろしま 21(第2次)推進会議「高齢世代の健康づくり部会」(地域歯科保健部).....15 ページ

今月の知っておきたいこと(広報部).....15 ページ

YouTube(広報部).....18 ページ

FMちゅーピー(広報部).....18 ページ

会長コラム『柔しく剛く』 広島市歯科医師会クリスマスパーティーの開催について.....19 ページ

新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み.....20 ページ

9月定例理事会報告.....21 ページ

LINE 公式アカウント 友達募集.....23 ページ

予告

広島市歯科医師会 クリスマスパーティー

2022年12月17日(土)

18:00~

HILTON
HIROSHIMA



詳しくは同封の案内をご覧ください

応募は 来月

だより 11月号で!!

豪華景品が
当たるかも!?



行事報告

令和4年度 広島市歯科医師会保険講習会

日時：8月17日(水)、31日(水)午後7時30分

場所：県歯会館 2階「ハーモニーホール」

新型コロナウイルス感染拡大の中、感染予防策をとった上、密を避けるため2回に分けて標記の会が行われた。

17日は講師に森本進県歯会保険部長・二井亮県歯会理事、31日には森本進県歯会保険部長・川本博也県歯会常務理事をお迎えした。熊谷宏本会会長による挨拶の後、講師より「令和4年度改定のポイント」という演題のもと、指導監査の現状や、保険請求のポイントなどについてわかりやすく解説をしていただいた。本講習会には17日が65名、18日が58名の出席があり、会員の正しい保険請求の一助となった。最後に瓜生賢本会副会長が閉会の辞を述べ終了となった。



講習会の様子

広島市歯科医療福祉対策協議会 役員会

日時：8月27日(土)午後6時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」(Web会議)

標記の会が開催された。

能美和基広島市歯科医療福祉対策協議会専務理事の閉会の辞、熊谷宏同協議会会長の挨拶の後、報告事項として、令和3年度広島市休日等歯科救急医療事業、在宅訪問歯科健診・診療事業、妊婦歯科健康診査事業、節目年齢歯科健康診査事業の報告が各担当理事からあり、その他の報告として広島市医療安全推進協議会より広島市域での医療相談・苦情相談について、また学校保健から学校保健大会及びよい歯の集いが開催されたことについて報告があった。

議事事項として、第1号議案令和3年度広島市休日等歯科救急医療事業収支決算について承認を求める件、第2号議案令和3年度在宅訪問歯科健診・診療事業収支決算について承認を求める件、第3号議案令和3年度妊婦歯科健康診査事業収支決算について承認を求める件、第4号議案令和3年度節目年齢歯科健康診査事業収支決算について承認を求める件が説明され、書面決議となった広島市歯科医療福祉対策協議会総会への上程が承認された。

そのほか協議事項は特になかったが、来年2月ごろを目標に学術講演会の開催方法を協議している旨が伝えられた。また、節目年齢歯科健診に関して市役所に苦情等が寄せられているとの報告があり、節目年齢歯科健診のポイントについて説明があった。

最後に、松本浩一同協議会副会長の閉会の辞により終了した。



Web会議(役員会)の様子

役 員			委 員	
職 名	氏 名	支 部	氏 名	支 部
会 長	熊谷 宏	広島市	波田 佳範	広島市
副 会 長	松本 浩一	安 佐	香川 次郎	〃
	栗栖 文夫	佐 伯	宮村 健一	〃
	澤村 豊	安 芸	前島真紀子	〃
	瓜生 賢	広島市	河原 利哉	〃
専務理事	能美 和基	〃	内田 雄士	〃
理 事	若林 大輔	〃	田中 信吾	〃
	森本 慎樹	〃	佐久間光俊	〃
	藤田 友昭	〃	前田 羊一	〃
	水内 裕之	〃	中川 誠	〃
	石田 一輝	〃	森川 英彦	〃
	横引 昌樹	安 佐	豊田 育星	〃
	桑原 一通	〃	武田 泰三	安 佐
	加島 弘之	〃	瀬川 和司	〃
	上田 浩大	佐 伯	山脇 典士	〃
	藤井 宗仁	〃	川添 祐亮	〃
	兼池 宏治	〃	大原 将史	佐 伯
	梶川 正文	安 芸	河野 敦志	〃
	山田 純	〃	藤田 裕樹	〃
	野村 俊夫	〃	半澤 泰紀	〃
	監 事	椿田 直也	広島市	児玉 正治
野村 昌利		安 芸	高山 智行	〃
			藤井 良典	〃
		新谷 宏規	〃	

広島市歯科医療福祉対策協議会 総会

日時：8月27日(土)書面開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今回の総会は書面表決となった。

1 報告事項

- (1) 令和3年度広島市休日等歯科救急医療事業 事業報告について
- (2) 令和3年度在宅訪問歯科健診・診療事業 事業報告について
- (3) 令和3年度妊婦歯科健康診査事業 事業報告について
- (4) 令和3年度節目年齢歯科健康診査事業 事業報告について

1 議事事項

- 第1号議案 令和3年度広島市休日等歯科救急医療事業収支決算について承認を求める件
- 第2号議案 令和3年度在宅訪問歯科健診・診療事業収支決算について承認を求める件
- 第3号議案 令和3年度妊婦歯科健康診査事業収支決算について承認を求める件
- 第4号議案 令和3年度節目年齢歯科健康診査事業収支決算について承認を求める件

すべての議案が可決承認された。

支部だより

中区支部

第19回 災害時医療研修会

日時：9月9日(金)午後7時

場所：大手町平和ビル 5階「大会議室」

標記の会が開催された。

土井敏郎中区医師会理事の司会進行の下、講師には広島市役所より、脇田知茂広島市危機管理室災害予防課主事を迎え行われた。

講演では、始めに平成11年(1999年)から令和3年(2021年)までの間に発生した自然災害、被災状況、これから広島市に起こりうる地震、大雨の傾向など、さらに中区ではどのような災害が起こりうるのかを説明された。そして、現在広島市が発行している防災の冊子、スマホアプリ、広島市役所のホームページから閲覧できる「防災ポータル」等の紹介も行われた。

以上のことを踏まえた上で、我々医療従事者の防災に対する関わりとして、1.自身の命を守る「自助」 2.患者の命を守る「職務」 3.地域の命を守る「共助」 4.地域の命を守る「公助」との連携の4本柱で講演された。

最初の「自助」は、1.地域の危険箇所 2.防災情報の入手方法 3.地震・津波 4.事前対策について。続いて「職務」は、避難路確保計画と事業継続計画。引き続き「共助」は、地域との連携・協定の重要性について。最後の「公助」

は広島市(自治体)と医療機関との連携について。以上のことを具体的にかつ、わかりやすく説明された。

質疑応答では、波田佳範中区支部長より、「我々歯科医師は「公助」の部分の1次医療においては、なかなか介入しづらいですが、避難場所等での2次医療の場面では、口腔管理を主とする口腔ケアは、疾病対策、感染症予防等におきまして、非常に重要なものになります。この点を今後の防災のマニュアル等に生かしていただきたいと思いません」という旨の、意見が出された。

なおこの研修会には、会場には波田佳範支部長、Webによるオンラインでは、石田一輝氏、森田薫氏が参加した。



脇田講師(中央)と医師会役員とともに

第14回 国泰寺圏域多職種連携会議

日時：9月16日(金)午後7時

場所：大手町平和ビル 5階「大会議室」

標記の会が開催された。

竹本元義国泰寺圏域多職種連携会議在宅医療推進リーダー医の司会進行の下、橋本義政中区医師会常任理事の開会挨拶が行われた。本日の講演は、「皆で考えてみよう！家で心不全とともに暮らすために」の演題で、講師に岡田武規広島赤十字・原爆病院循環器内科部長を迎えた。

講演内容は、「心不全とは何か」という臨床的な定義に始まり、心不全所謂心臓の病態にはどのようなもの(心膜疾患、心筋疾患、弁膜疾患、不整脈等)があり、近年増加傾向にあることなどが解説された。そして、具体的な症例報

告、治療法(薬物療法、呼吸療法、運動療法)等がわかりやすく解説され、最後に患者さんの退院時における多職種介入による重要性で締めくくられた。Web配信によるオンライン参加はここまでで終わり、以後は会場参加の事例紹介・グループワークへと移行した。

グループワークでは、現在慢性心不全で加療中の全盲の78歳の男性の症例で、独居、多数の薬剤の服用中の患者さんに対して、それぞれの職種からどのような医療・介護サービスが考えられるのか、だった。各テーブルより、様々な意見が出され、非常に興味深いものだった。

閉会の挨拶は、中区支部の幹部役員でもある、小松大造氏が行った。

なおこの会議に会場には波田佳範支部長、有田一喜氏、小松大造氏、辰本将哉氏、オンラインでは香川次郎副支部長、加藤千季氏、佐々木宏治氏が参加した。



岡田武規広島赤十字・原爆病院循環器内科部長(左から3人目)とともに参加者一同

南区支部

翠町地域包括支援センター主催 介護予防教室

日時：5月13日(金)午後2時

場所：皆実学区集会所

標記の行事が開催され、芥川桂一地域歯科保健部委員が「おうち元気でカラダも元気！」と題して、皆実町地域の老人クラブ会員約25名に対し講演を行った。

前半は超高齢社会に伴って増加している口腔機能低下症について、全身の健康に対する咀嚼・嚥下機能の重要性を交えて基礎的な知識について解説した。また、口腔機能検査が保険収載され、歯科医院での検査が可能になったこと、検査結果が数値で示されるため、自覚症状の少ない口腔機能低下症の早期発見が可能であることを説明した。

後半は、口腔機能の維持・向上のためのペコぱんだ使用、パタカラ体操、嚥下おでこ体操をはじめとしたトレーニング法を説明し、マスク着用のままではあったが実際に参加者とともに実技をおこなった。

最後に地域包括支援センターとの事業である短期集中通所口腔ケアサービス、及び歯科医療福祉対策協議会の在宅訪問歯科健診・診療事業を紹介して講演を終了した。

講演後には「歯科医院で口腔機能低下症の検査が行えることを初めて知り、検査を受けてみたい」といった感想や、「本日おこなった体操を普段からするようにしたい」との声があり、地域住民の口腔内への関心の高さが伺えた。

本会では、今後もフレイル予防の第一歩として介護予防教室等を通じて地域住民に口腔機能の重要性を周知し、健康寿命の延伸につながる活動を行っていく予定である。



講演をする芥川桂一地域歯科保健部委員

宇品・似島地域包括支援センター主催 介護予防教室

日時：7月20日(水)午後2時

場所：ベイサイドパレス宇品 2階「集会所」

標記の行事が開催された。

本教室では、中川誠地域歯科保健部副委員長が「身体の健康はお口から」と題して、マンションの住民11名に対して講演を行った。

講演では、まず認知症とお口の関係について解説を行い、

自身の歯をしっかりと残すこと、無くなくても義歯を使用することで認知症のリスクを下げることを説明した。また、歯周病菌が認知症の発症に深く関わっていることも説明し、お口の状態を良くすることが認知症予防となることを解説した。

次に、舌の運動機能の維持・向上が摂食嚥下機能の維持・改善や誤嚥性肺炎の予防に有効であることを解説し、ペコぱんだを用いての舌圧トレーニングを出席者全員で行った。また、オーラルディアドコキネシスについても解説を行ったが、飛沫感染予防の観点から発声は行わず、各年代における平均発音回数をタイマー音で体感していただいた。出席者からは特に「カ」の発音が難しいという感想を得た。

最後に、フレイルについての解説を行い、かかりつけの

歯科医をもって定期的にチェックしてもらうことが、オーラルフレイルの早期発見、低栄養やサルコペニアの予防、ひいては健康寿命の延伸へとつながることを理解して頂いた。

本会地域歯科保健部は、介護予防教室で舌圧測定器やペコぱんだを活用することによって、通所口腔ケアサービス利用のきっかけとなる取り組みを行っている。今後も高齢者のフレイルへの移行を予防する啓発を行っていく所存である。

段原地域包括支援センター主催 介護予防教室

日時：8月26日(金)午後2時

場所：広島市東雲老人福祉センター

広島市段原地域包括支援センター主催の標記の行事が開催され、中川誠地域歯科保健部副委員長が「身体の健康はお口から」と題して地域の住民26名に対して講演を行った。

講演では、まず認知症とお口の関係について解説を行い、自身の歯をしっかりと残すこと、無くなっても義歯を使用することで認知症のリスクを下げることを説明した。また歯周病菌が認知症の発症に深く関わっていることも説明し、お口の状態を良くすることが認知症予防となることを解説した。

次に舌の運動機能の維持・向上が摂食嚥下機能の維持・改善や誤嚥性肺炎の予防に有効であることを解説し、ペコぱんだを用いての舌圧トレーニングを出席者全員で行っ

た。舌圧の客観的な評価方法として舌圧測定器があり、舌圧を数値化することができるためトレーニングの意欲向上にもつながることを紹介した。またオーラルディアドコキネシスについても解説を行ったが、飛沫感染予防の観点から発声は行わず、各年代における平均発音回数をタイマー音で体感していただいた。出席者からは特に「カ」の発音が難しいという感想を得た。

最後にフレイルについての解説を行い、かかりつけの歯科をもち定期的にチェックしてもらうことでオーラルフレイルの早期発見をすることができ、低栄養やサルコペニアの予防そして健康寿命の延伸へとつながることを理解して頂いた。

西区支部

西保健センター主催「西区健康づくり講座」

日時：6月30日(木)午後1時30分

場所：アルパーク西館 1階「OPEN MUJI」

標記の行事が開催された。

橋本里香広島市西区厚生部地域支えあい課地域支援第二係保健師の開会挨拶の後、「目指せ 8020！きれいな歯から始まる長寿への道」と題し、岡田浩幸地域歯科保健部委員が、60～80歳代の西区住民17名に対して講演を行った。

講演前半では、8020を達成することにより「健康状態が良い」「医療費が安い」「要介護度が低い」など身体の健康を保てることを説明し、歯を失わないための喪失原因第1位の歯周病を予防する必要性を伝えた。

講演の後半では、オーラルフレイルについて説明し、お口の機能を保つことにより健康寿命を延ばすことにつながることを示し、オーラルフレイルは窒息や誤嚥性肺炎

のリスクを高めるため、早期の改善・予防が必要であることも説明した。舌圧の機能訓練ができるペコパンダの説明、配布等により予防・改善方法についても説明した。

講演の後、藤川直子歯科衛生士によるブラッシング指導とお口の体操が行われ、歯ブラシの当て方や清掃補助器具の必要性、使い方を説明し、お口の体操もフェイスシールドをしながら実演した。

質疑応答では、デンタルフロスの使い方や、歯ブラシの交換のタイミングなど、多くの質問が挙がり、地域住民の口腔内への関心の高さが伺えた。

また、新型コロナウイルス感染拡大により歯科受診を控えている方にも、受診を控えることによって歯周病の悪化や細菌性肺炎を引き起こし、ウイルス性肺炎が重症化しやすくなること、歯科医院で行われている感染防止対策や消毒・滅菌方法を紹介し、安心して受診できることを説明し

た。歯周病とオーラルフレイルについてはかかりつけ歯科医をみつけて相談して欲しいと話して講座を終了した。

今後も地域住民との関わりをもち、地域歯科医療に貢献できる活動を続けて行きたいと考えている。



講演をする岡田浩幸地域歯科保健部委員

第11回 井口台・井口圏域 在宅医療・介護関係者の連携会議

日時：9月8日(木)午後6時30分

場所：オンライン開催

標記の会がオンラインで開催された。今回は「地域の中で最期まで生きる」を支えるチームづくりがテーマで、特に在宅で看取ることに焦点を当てた会議となった。

最初に「在宅看取りの実践に向けて学びましょう」と題して伊達修コールメディカルクリニック広島副院長から講演があった。在宅で最期を迎えたいと思う人は6割もいるが、実際には8割の人が病院で亡くなるという現実がある。ではなぜ在宅での看取りが少ないのか？そこには本人の意志と家族の思いのギャップ、そして必要な医療や介護に対する知識不足など様々な問題があることが分かった。家で看取するには本人の強い意志は勿論のこと、家族の覚悟や介護力が必要となる。また、最期に対する思いについて

は、親としては子供に迷惑をかけたくないので現実的に在宅での最期は難しいと考えるのに対し、子供は親と最期と一緒に迎えたいと望むケースも多い。こうしたお互いの気持ちをACP(アドバンス・ケア・プランニング)によって十分話し合い、そのうえで在宅を推進してくれる医療機関や介護サービスを調べておくことが重要なことだと確認できた。後半は8グループに分かれ、体験談やそれぞれの専門職からアプローチできることなどを話し合い、大変有意義な会議となった。

なお、西区支部からは田中信吾支部長、豊田育星氏の2名が参加した。

県歯科医師会館(天神町)での被爆

被爆前の県歯科医師会館は、現平和公園内、旧天神町にあり、その場所が特定できたことを6月号でお伝えしましたが、その取材の際に手にした、過去の企画展の図録の中に、興味深い記載があったので報告します。

広島平和記念資料館東館地下1階展示室(5)で、2001(平成13年)年3月16日(金)~7月9日(月)開催の、平成12年度第2回企画展「よみがえる歴史の記憶 一瞬に消え去った爆心の町」、の図録より以下、転載します。

県歯科医師会館(天神町)

岡原政太郎さんは、当日の朝、勤務先の県歯科医師会館に出かけたまま帰ってこなかった。心配した妻のツネヨさんと長女の伸子さんは、市内をくまなく捜したが見つからず、一週間後、焼け跡となった勤務先を訪れた。政太郎さんの席があった場所を掘り返すと、椅子に坐った状態で骨が点々と並んでいた。入れ歯は、骨の間に、弁当のおかず入れは、右手を伸ばした位置にあった。



焼け跡から見つかった入れ歯と弁当のおかず入れ 爆心地から300m
<寄贈/岡原ツネヨ氏 所蔵/広島平和記念資料館>

図録には「入れ歯」とのキャプションでしたが、連結冠かブリッジ(広義の入れ歯)と思われます。

我々の先輩が活躍していた歯科医師会館、その中で被爆、死没された岡原氏の無念さといったら、平和な世の中に暮らしている私には想像が付きません。平和公園内に存在した旧歯科医師会館、岡原氏の死を書き止め、語り継ぐことが我々の使命と感じます。図録には<岡原政太郎(48歳)>とのキャプションのついた遺影もありましたが、転載は難しそうでした。岡原氏は県歯会の職員でしたので、県歯会、平和記念資料館と連絡を取りながら、慎重に取材を進めていきたいと思えます。

会史等編纂特別委員会では、広島市歯科医師会の歴史を記録するために、史料を集めています。「こんなことを知っているぞ」や、史料をお持ちの先生は事務局までご一報いただければ幸いです。

ちょっとイイ話

耳寄り情報

総務部

休日診療保険請求における留意事項について

現在、休日診療保険請求のレセプトチェックは総務部が主体となって行っております。その際、間違いや気になった点を以下に記載しております。休日診療に出務する際の参考にしていただけたら幸いです。

- ・口腔内消炎手術を算定しカルテ記載がないものがありました。口腔内消炎手術を含め外科手術を行った場合は手術部位・症状及び手術内容の要点のカルテ記載をお願いします。
- ・外傷で暫間固定、Perにおいて貼薬、消炎処置、咬合調整等を行っているが全く算定がないケースがありました。処置を行ったものに関しては実態に即して算定してください。

(森本 慎樹)

SRP 時の浸潤麻酔に代わる除痛法

スケーリング・ルートプレーニング(SRP)は、大なり小なり痛みが伴う治療です。術者はできる限り患者に疼痛や不快感を与えない様に注意し、技術の向上をするべきですが、痛みの感じ方は患者の感受性にも大きく依存するので、これをコントロールすることはなかなか難しいというのが現実ではないでしょうか。

臨床現場において、SRP を行う前にあらかじめ浸潤麻酔による除痛を行うことで、患者も術者も安心感が生まれ、治療効率の向上につながることはよく見受けられますが、一方で麻酔針刺入時の疼痛や薬剤による副作用の可能性などを考慮して、SRP の際の浸潤麻酔はできるだけ避けたいと考える方もいらっしゃると思います。

そこで今回は、SRP を行う際に浸潤麻酔の代わりに歯周ポケット内にゲル麻酔を応用し、臨床パラメータならびに除痛効果について評価した論文を紹介します。

紹介する論文はドイツのケルン大学の、Sonja H M Dermanらの研究によるもので、2014年のJournal of Clinical Periodontologyに掲載されています。

以下に論文の内容を抜粋します。

歯周治療を成功させる上で疼痛管理は重要な項目の一つであり、浸潤麻酔はSRP時の重度の疼痛管理の方法として適しているとされてきた。しかし、注射器を用いた浸潤麻酔はそれ自体が不快と恐怖の原因となっている。

こうした背景から、注射の代わりとなる麻酔方法の開発が進められている。その中にリドカインとプロカインを含むポケット内麻酔ゲルが存在し、その有効性が示されている。本研究では、注射による麻酔とゲル麻酔を比較した場合の、処置中の疼痛ならびにSRP後の治療結果に焦点を当てた。

本研究はスプリットマウスデザイン(同一患者の口腔内で左右側に異なった治療を行って比較する研究デザイン)にて行われた。

未治療の歯周炎患者をランダムに割り振り、片方はポケット内ゲル麻酔下でのSRP後に浸潤麻酔下によるSRPを、もう片方は浸潤麻酔下SRP後にポケット内ゲル麻酔下SRPを行った。

患者主観の疼痛評価は視覚的スケールのVisual Analogue Scale(VAS)と段階的スケールのVerbal Rating Scale(VRS)の2通りで行われた。

結果として、局所麻酔の方法の違いによる臨床パラメータの有意差は認められなかった。一方で、ゲル麻酔下SRPにおいて、81.8%の患者が「痛みなし」または「ほとんどない」と回答したのに対し、浸潤麻酔下SRPにおいては、94%の患者が「痛みなし」または「ほとんどない」と回答した。これにより、浸潤麻酔下でのSRPと比較して、ゲル麻酔下では処置中の疼痛が有意に高い結果となった。

局所麻酔法の好みとしては69%がゲル麻酔を選択し、浸潤麻酔を選択したのは28%であった。浸潤麻酔を好んだ患者は、ゲル麻酔下で浸潤麻酔下と比較して有意に強い痛みを感じていた。

以上が論文の内容の抜粋となります。

日々の診療において、浸潤麻酔の刺入部分の疼痛を十分に除去できない経験があるかと思います。そして年齢関係なく注射の不快感と恐怖心は存在しており、できるなら避けたい処置の1つです。

本研究結果として、SRP時に多少の痛みや不快感があったとしても、浸潤麻酔ではなくゲルによる麻酔を希望したことは興味深いと思いました。麻酔方法の違いによってその後の臨床成績に変化が出ないのであれば、SRP時の浸潤麻酔の必要性についてはより検討していくべきと考えます。海外ではSRP時に表面麻酔を使用することも多く、日本でも今後主流になってくるかもしれません。また、麻酔せずにできるだけ痛みを与えない様なSRPの方法を試み、実践していくことが大切だと思われまます。

参考論文：

Influence of intra-pocket anesthesia gel on treatment outcome in periodontal patients: a randomized controlled trial

J Clin Periodontol. 2014 May;41(5):481-8.

(楠橋 由規)

厚生部

厚生部では市歯会会員紹介ということで、毎回1名の先生に焦点を当て、記事にさせていただいておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の為、インタビューを行うことが困難となりましたので特別編として、厚生部のニューフェイスを紹介させていただきます。

今後、感染状況が落ち着きましたらインタビュー記事の作成をさせて頂こうと考えております。先生方のもとへの取材依頼の折には、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

八谷文貴委員紹介文

平素より大変お世話になっております。この度厚生部に所属させていただくこととなりました、八谷文貴と申します。

広島市内で代々歯科医院を営む八谷家の次男として生を受け、修道高校を卒業後、愛知学院大学歯学部に入學しました。学生時代は少林寺拳法部と弓道部で多くの先輩方のご指導のもとデンタル優勝を目指して日々汗を流し、どちらも総合優勝することが出来ました。この時ご指導いただきました諸先生諸先輩方には、今現在も大変お世話になっております。

歯学部卒業後は愛知学院大学大学院歯学研究科に入學し、保存修復学講座にて千田彰教授(現名誉教授)、富士谷盛興特殊診療科教授をはじめ、多くの先生方のご指導を賜り、現在の歯科医師としての基礎を学ばせていただきました。

2022年4月からは広島に戻り、同年5月に横川にて八谷歯科・矯正歯科クリニックを開業させていただきました。またこれと同時に歯科医師会に入会させていただいております。その際に厚生部の谷理事にお声掛けいただき、熊谷会長の下、厚生部の委員として活動させていただいております。曾祖父、祖父、父と、歯科医師会の発展のためにお力添えさせていただいておりますので、私としてもお声掛けいただいた際は大変光栄でありました。

厚生部の活動目的は『会員の福利厚生の実現』にあります。そのため現在、年末のクリスマス会に向け、企画会議を重ねております。私としましても、会員の先生方の思い出に残るような会にすべく、厚生部の先生方のご指導のもと精一杯活動させていただいておりますので、是非一人でも多くの先生にクリスマス会にご参加いただければ幸いです。

厚生部の活動のみならず、今後も多くの先生方にお世話になることがあると思います。これからも歯科医師会の益々の発展のために尽力する所存ですので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

(土屋 崇文)

～厚生部からのお知らせ～

先生方の趣味に関する記事を募集しております。先生ご自身のこだわりの趣味について、広島市歯科医師会だより1ページ分、ご披露いただけますと幸いです。奮ってご応募ください！



少林寺拳法部の卒業記念写真撮影



歯学部6年最後のデンタル
(射場控にて他校の友人と共に)



千田彰教授と大学院の先輩&同期が
誕生日を祝ってくれました



父忠伸に教わりながら日々診療に
あたっております

学校歯科健康診断における歯式について

今回の「広島市歯科医師会だより10月号」が皆様のお手元に届くころには既に臨時健康診断(秋の学校歯科健診)が始まっていると思われます。これまで学校歯科健診における診査基準について、5月号では「顎関節」、6・7月号では「歯列・咬合」、8月号では「歯垢・歯肉」、9月号では「CO要相談」について述べてきましたが、今月号では「歯式」について確認をしていきます。

「現在歯(-,/, \)、要観察歯(CO)」、「むし歯(C)」、「処置歯(O)」、「要注意乳歯(X)」においては既に先生方もよくお分かりいただいているかと思われますので、今回は以下のようなイレギュラーなケースを説明します。

・喪失歯(△)：むし歯が原因で喪失した歯、乳歯には用いない。

※むし歯以外の原因で喪失した歯(例：矯正治療、外傷)及び先天性欠如歯の該当歯部には何も記入しない。

・ゆ(癒)合歯：「ゆ合」または「ゆ」。その他の疾病及び異常の欄にその旨を「ゆ合歯」と記載。

※ゆ合歯などが原因で先欠があり、歯の形態などで歯式が判別できない場合、近心歯を現在歯、遠心歯を喪失歯とする。

・エナメル質形成不全症：エナメル質形成不全症そのものはむし歯ではない。むし歯になる危険性があれば「要観察歯(CO)」が適切。Cは臨床的う蝕(clinical caries)なので、明らかう窩の形成があれば「むし歯(C)」である。エナメル質形成不全症は、むし歯の初期病変のCOとは異なり、歯の石灰化期になんらかの原因で石灰化が障害されたために引き起こされる「エナメル質減形成」あるいは「エナメル質石灰化不全」のことを指すため、エナメル質形成不全が認められた場合は、「現在歯(-,/, \)」とし、その他の疾病及び異常の欄にその旨を「エナメル質形成不全」と記載し、学校歯科医所見の欄には学校歯科医が特に指示する事項(歯科受診勧告など)を記載する。

・シーラント処置歯(⊙)：健全歯として扱う。歯式に記載の必要があれば⊙の記号を使用する。

・サホライド(フッ化ジアンミン銀)塗布歯：サホライド塗布されていると認める歯で、治療を要する場合は「C」とし、治療を要しないと認める歯はCOに準ずる歯として「CO」と記載する。サホライド塗布歯であることを明確にしておきたい場合には「⊕」という記号を使用する。但し、担当校の養護教諭と認識の共有をはかること。

・その他の歯の疾患：過剰歯(歯数異常)、中心結節、樽状歯、矮小歯、円錐歯などはその他の疾病及び異常の欄にその旨を記載すること。

(土江 雄治朗)

労働安全衛生法に基づく歯科健康診断時の結果報告書が変更になります

公益社団法人日本歯科医師会

令和4年10月1日より、歯科健康診断が変わります

《変更点》

1. 歯科特殊健康診断専用の結果報告書ができました

様式6号「定期健康診断結果報告書」から様式6号の2「有害な業務に係る歯科健康診断結果報告書」に変更になりました。全身の定期健康診断結果報告書の一部に設けられていた記入欄が、専用の独立した結果報告書になりました

また、労働者数50人未満の事業場も含め、すべての事業場に報告が義務づけられました

2. 「健康診断実施機関の名称」「健康診断実施機関所在地」の記入欄があります **(A)**

本報告書には実施した歯科医師名を記入する欄はありません。実施した機関（歯科医院名等）及び所在地のみを正確に記入します

3. 記載事項（有害な業務内容等）が増えました **(B)**

新たに「①労働安衛令第22条3項に掲げる業務に従事する労働者数」の欄が追加されました
「②受診労働者数」「③所見のあった者の人数」は結果を記入します

さらに、「④物質（化学）」「⑤業務内容（化学物質の使用目的）」欄も増えました（記入例参考）

《注1》「①従事労働者数」と「②受診労働者数」は欠勤者等の存在で一致しないことがあります

《注2》健康診断個人票に下記事項等を記録し、口内異常所見（舌、粘膜等）は産業医に伝える

- 1) 化学物質の使用濃度
- 2) 化学物質の取扱時間、使用量（1日または1週間または1カ月当たり）
- 3) 化学物質混合の有無 など

※産業医を選任していない事業場は、「産業医」欄（最下段）には、記入不要です。 **(C)**

各事業場に選任されている産業医が歯科健診実施結果の確認をするための欄です

2022.10.1 ~

様式6号の2

「有害な業務に係る歯科健康診断結果報告書」

《記入例》

・塩酸・硫酸・フッ化水素
その他（酸以外も）

項目	取扱有害物質・業務内容	物質	業務内容	労働者数
労働安全衛生法施行令第22条第3項に掲げる業務に従事する労働者数	塩酸(25%)	脱脂洗浄作業	18人	右に記して記入する↑
受診労働者数	その他の作業として	表面処理作業 薬品調合作業 PH調整作業 加水分解作業など	18人	右に記して記入する↑
所見のあった者の人数			0人	右に記して記入する↑

様式第6号の2(第52条関係) (表面)

様式第6号の2(第52条関係) 有害な業務に係る歯科健康診断結果報告書

80315 0123456789

労働保険番号	在籍労働者数
対象年	健診年月日
事業の種類	事業場の所在地
健康診断実施機関名称	健康診断実施機関所在地
項目	業務内容
労働安全衛生法施行令第22条第3項に掲げる業務に従事する労働者数	
受診労働者数	
所見のあった者の人数	
氏名	産業医
所属機関の名称及び所在地	
年月日	事業場長氏名
	労働基準監督署長

詳しくは広島労働局・労働基準監督署のページをご覧ください。

<https://jsite.mhlw.go.jp/hiroshima-roudoukyoku/content/contents/001206454.pdf>



会員ひろば

新入会員紹介



佐々木宏治

広島市歯科医師会の皆様におかれましては益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。
この度、広島市歯科医師会に入会させて頂きました佐々木宏治と申します。

私は、広島大学を卒業後、安芸区の医療法人社団 En fleurs アイリス歯科で勤務しておりました。この度、令和4年5月末に中区白島の小田歯科の小田浩先生が閉院された後、当医療法人が引き継ぎ白島歯科として同年8月から開院し、同医院にて診療に従事しております。

入会に際しましては、多くの先生方にご助言、ご指導を頂きまして誠にありがとうございました。

まだ至らぬ点もあるかと存じますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

各部からの報告

総務部

広島市医療安全推進協議会より —こんな医療トラブルが起きています—

広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的相談事例を報告します。
なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われないように、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。

事例1：感染対策について

かかりつけ歯科で、歯科医師が患者ごとに手袋を交換しているのか、消毒がきちんとなされているのかが気になる。そちらで調査、指導等してほしい。

(センター対応)

当センターは相談機関であり、病院の調査や指導をする権限は持っていない。歯科医師会であれば何か対応策があるかもしれない。希望があれば歯科医師会の連絡先を伝える。

(コメント)

コロナ禍で患者さんの感染対策への目は益々厳しくなっています。患者さんの目の前で、グローブを装着し、滅菌パックをあけて器具を出す等の配慮や、院内の見えるところに感染対策についての取り組みのポスターやポップなどを設置し、患者さんに対して感染対策の取り組みを理解してもらうよう心がけましょう。

事例2：医療事故では？

2本の親知らずを抜く際に唇や頬(の内側)に傷がついた。その後痛みが続いている。家族からは医療ミスではと言われる。どうすれば良いか？

(センターの対応)

まずは今の歯科で口腔内の状態を見てもらって、痛みの理由を確認してもらうことをお勧めする。

(コメント)

詳細は分かりませんが、万が一医療事故等が起きた場合、些細なことであってもうやむやにするのではなく、患者さんに対して十分な説明と真摯な対応を心がけましょう。



元気じゃけんひろしま 21(第2次)推進会議

「次世代の健康づくり部会」及び「健康づくりを支える社会環境整備部会」

日時：9月7日(水)午後2時

場所：広島市地域福祉センター 5階「ボランティア研修室」

標記の会が開催され、元気じゃけんひろしま21(第2次)の最終評価について検討した。

元気じゃけんひろしま21とは、市民の健康寿命の一層の延伸を図るため、今後の本市の健康づくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的とした計画のことである。本会議において、策定時(又は中間評価時)に設定された目標について、目標の達成状況や取組の状況を評価するとともに、今後の健康づくり対策の課題を明らかにして、次期計画に反映させることを協議した。次世代の健康づくり部会では、3歳児でう蝕のない者の割合が90%以上、12歳児でう蝕のない者の割合が75%以上と、それぞれがともに最終目標値を超えたことが発表された。

出席した石田一輝地域歯科保健部理事からは、口腔内環境と全身の健康状態は深く関連があり、子どもの頃から口腔内を健康に保つということは生涯に渡り価値のあることであると説明があった。加えて、本会としても会員間の情報共有や研修会および講演会等を開催することで、引き続き子どもたちのお口の健康を守る一助となれば幸いであると述べた。その後健康づくりを支える社会環境整備部会が開催され、こちらも活発な議論が交わされた後に、閉会となった。

これからも本会は地域社会に貢献すべく活動を継続していく所存である。

元気じゃけんひろしま 21(第2次)推進会議

「生活習慣病予防部会」及び「働く世代の健康づくり部会」

日時：9月9日(金)午後6時

場所：広島市役所 14階「第7会議室」

標記の会が開催された。

元気じゃけんひろしま21(第2次)において、策定時または中間評価時に設定された目標について、目標の達成状況や取組状況の評価結果に基づき、今後取り組むべき課題について話し合われた。

歯科に関する項目では、「60歳で24歯以上の歯を有する者の割合の増加」で、平成23年度79.4%→令和3年度91.7%(目標値95%)、「40歳で喪失歯のない者の割合の増加」で、平成23年度69.8%→令和3年度90.9%(目標値87%)、「過去1年間に歯科健康診査を受診した者の割合の増加」で、平成23年度42.3%→令和3年度47%(目標値65%)とそれぞれ改善傾向であった。しかし、「歯周病を有する者の割合の減少」では40歳で平成23年度47.2%→令和3年度53.2%(目標値35%)、60歳で同

66.2%→同67.7%(目標値55%)と悪化していると評価された。これらから、歯が残る者は増えたが、同時に歯周病も増えたと考えられた。歯周病に罹患しても安定期治療により歯を残すことが可能になったとも考えられ、一概に悲観することではないかもしれないが、今後はより健康な口腔を維持できるよう改善していく必要があると考えられた。

また、「糖尿病有病者の増加の抑制」でも平成22年度6.6%→令和2年度7.8%(目標値7.4%)と悪化しており、歯周病と糖尿病の密接な関係について広く周知することで、両疾患の減少に努める必要があると考えられた。

なお本会議には、若林大輔地域歯科保健部理事が出席した。

元気じゃけんひろしま 21(第2次)推進会議「高齢世代の健康づくり部会」

日時：9月9日(金)午後7時30分

場所：広島市役所 14階「第7会議室」

標記の会が開催された。

元気じゃけんひろしま21とは、市民の健康寿命の一層の延伸を図るため、厚生労働省が策定した健康日本21の目標値をもとに、本市の健康づくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的とした計画のことである。本会議において、策定時(又は中間評価時)に設定された各目標について、平成29年の実績値より令和3年度の実績値がどの程度改善しているかのデータをもとに、今後の健康づくり対策の課題を明らかにして、次期計画に反映させることを協議した。高齢世代の健康づくり部会の口腔

の項目では、8020達成率は横ばいであるものの、口腔機能低下者の割合が令和2年度から増加しており、改善がみられないことが課題として挙げられた。新型コロナウイルス感染症により、高齢世代の社会参加、運動、口腔、栄養全ての分野において、コロナ禍以前より悪化していることが懸念され、コロナ禍における課題と対策、脱コロナに向けた課題と対策が議論され、閉会となった。

これからも本会は地域社会に貢献すべく活動を続けていく所存である。なお本会議には、藤田友昭地域歯科保健部理事が出席した。

広 報 部

記事の詳細確認は自己責任にてリンク先をお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

新型コロナウイルスに関する最新の情報はこちらをご参照ください

内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策

<https://corona.go.jp>



厚生労働省 新型コロナウイルス感染症につ

いて

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html



広島県 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/>



広島市 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



今月の知っておきたいこと

▼歯科医院の侵入盗被害が急増、短時間でドア割る手口多く 岐阜県警が防犯指導



Yahoo!ニュース (2022年10月1日)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/de2119772a6d105ced8ad357bbbfbccfb3d9cb98>

岐阜県内で歯科医院を狙った侵入盗被害が急増していることを受け、県警生活安全総務課は、岐阜市太郎丸の中村歯科医院で、防犯指導を行った。同課によると、県内では昨年、病院を狙った侵入盗被害はなかったが、今年に入って8月末までに18件発生している。うち14件が歯科医院であることから、防犯対策を徹底してもらおうと同課が企画した

▼東北大学、歯科金属アレルギーの発病メカニズムを解明!



Yahoo!ニュース (2022年9月29日)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/281ffd2bec6b34f87717296dcb46308c304206ac>

東北大学は、歯科金属アレルギーの発病メカニズムを解明したという研究成果を発表した。これまで、歯科金属アレルギーは、パラジウムが原因のひとつであるとされてきたが、パラジウムは材料学的に安定な貴金属であり、なぜ発病の原因となるのかは不明だった。では、東北大学が解明した歯科金属アレルギー発病のメカニズムとはどのようなものだろうか。今回は、そんな話題について紹介したいと思う。

東北大学加齢医学研究所の伊藤甲雄助教らは、札幌医科大学や東北大学薬学研究所と共同で歯科金属アレルギーの発病メカニズムを解明した。これまで歯科金属アレルギーの原因は、歯科金属で活用されるパラジウムが一因だと推測はされていたのだが、そのメカニズムが解明されずにいたのだ。

▼療養担当規則(省令)のオンライン資格確認に関する記載に原則義務化の内容が改正されました



医療機関等向けポータルサイト (2022年10月4日)

<https://www.iryohokenjyoho-portal.jp/post-21.html>

令和5年4月1日より、施行され、保険医療機関・保険薬局は、オンライン資格確認の導入が原則義務づけられることとなりました。(ただし、現在紙でレセプト請求を行っている医療機関・薬局を除きます)

オンライン資格確認の原則義務化は、療養担当規則に定められており、令和5年4月にオンライン資格確認の運

ニュースピックアップ

▼新型コロナのパンデミックは「終わった」バイデン米大統領



CNN.co.jp 2022年9月19日

<https://www.cnn.co.jp/usa/35193467.html>

米国のジョー・バイデン大統領は18日、米CBSテレビの番組で、新型コロナウイルス感染症のパンデミック(世界的大流行)は「終わった」との認識を示したが、「パンデミックは終わった。我々はまだ新型コロナウイルスの問題を抱えている。やるべきことはたくさんある」と強調した。

◎米疾病対策センター(CDC)は、新型コロナウイルス感染症の死亡リスクが改善したことから隔離やソーシャル・ディスタンスといった対策から離れて、重症化を防ぐ対策に重点を置くよう促しています。

▼BA・5対応ワクチン承認へ EU当局、オミクロン株



THE SANKEI NEWS 2022年9月13日

<https://www.sankei.com/article/20220913-ZQK76HYFOJK6PDFL2OF6V265AE/>

欧州連合(EU)医薬品規制当局、欧州医薬品庁(EMA)は12日、新型コロナウイルスのオミクロン株派生型BA・5に対応した米ファイザー製のワクチンの承認を勧告した。BA・1に対応したワクチンについては1日に勧告していた。

◎このワクチンはBA・5と従来株に対応する2種類の成分が含まれた2価ワクチンで、EMAは12歳以上へのブースター接種を推奨しています。また、米疾病対策センターも、BA・5に対応したモデルナ製とファイザー製の改良版ワクチンによる追加接種を推奨すると発表しました。日本での承認はいつになるのでしょうか。

▼新ワクチンの位置付け議論 無料化へ、厚労省分科会 コロナオミクロン株対応



THE SANKEI NEWS 2022年9月13日

<https://www.sankei.com/article/20220914-UPLP5TJYYFK5FGKU4X3CEYXJHM/>

用ができない医療機関・薬局は療養担当規則違反となります。

健康保険法第80条には療養担当規則に違反した場合、厚生労働大臣は保険医療機関・保険薬局の指定取り消しをする事ができると定めています。

▼保護した認知症高齢者の身元、「歯のレントゲン画像」を使いAIが迅速判定



Yahoo!ニュース (2022年10月1日)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/af172e87c95c31d16ca969adec95115f90657b39/images/000>

大阪府大阪狭山市は29日、地元の近畿大学病院、狭山美原歯科医師会と連携し、事前に登録した歯の情報を基に、保護した認知症高齢者の身元をスムーズに特定する取り組みを10月から始めると発表した。AI(人工知能)を活用することで、手作業での照合より大幅に時間を短縮できる。市によると、全国初の試みという。

厚生労働省のワクチン分科会は14日、新型コロナウイルスのオミクロン株に対応した新ワクチンを予防接種法の「特例臨時接種」に位置付けることなどを議論した。特例臨時接種になればこれまでと同様に費用は国が負担し無料で受けられる。

◎現状では9月19日以降で自治体に配送を開始し、4回目接種の対象となっている60歳以上や医療従事者から9月20日にも接種が始まる見通しで、10月半ばごろに、2回以上接種した12歳以上の全ての人に新ワクチンの対象を広げる方針です。

▼歯周病はなぜ厄介なのか？ 発症・重症化の仕組み、「逆向き」思考で解明 新治療法の開発に期待



南日本新聞 2022年9月7日

<https://373news.com/news/storyid/162379/>

歯周病の原因菌が腸で取り込まれ、その影響で活性化した別の細胞が血管やリンパ管を通過して口の中に移動し症状を悪化させる仕組みを、福岡歯科大学口腔(こうくう)歯学部の中田芳彦教授(57)=免疫学・微生物学、鹿児島県出水市出身=らの研究グループが突き止めた。

◎研究ではマウスに人の歯周病原菌を投与したところ、腸から取り込まれて腸内細菌と反応し、その影響で活性化したヘルパーT細胞が歯肉に移動して、歯周病を発症、重症化したそうです。今後の研究に注目したいと思います。

▼廃金属量少なすぎ？ 調査要望 周防大島の歯科診療巡り



日本海新聞 2022年9月8日

<https://www.nnn.co.jp/knews/220908/20220908282.html>

山口県周防大島町の町立橋医院の歯科診療で、金歯や銀歯の抜歯などで不要となった金や銀などの廃金属の発生量が少なすぎる上、金がゼロなのは不自然だとして、地元の「大島郡歯科医師会」は8日、周防大島町に調査を求める書面を提出した。

◎20年分で5kgというのも気になりますが、金がゼロという

のはどういうことなんでしょうか。金パラにも 12%の金が含まれているはずですので、意図的としか思えません。悪いことは出来ませんね。

▼昨年度の医療費 約 44 兆 2000 億円 2 年ぶりに過去最高更新

NHK NEWS WEB 2022 年 9 月 16 日

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220916/k10013821551000.html?word_result=医療



病気やけがの治療で全国の医療機関に支払われた、令和 3 年度の概算の医療費は、およそ 44 兆 2000 億円となり、2 年ぶりに過去最高を更新した。厚生労働省は、前の年度に新型コロナの影響による受診控えがあった反動で、受診が増えたことが主な要因だとしている。

◎年代別医療費は、75 歳未満に対し、75 歳以上が約 4 倍となっており、予防医療を充実させて健康寿命をできる限り伸ばし、なるべく病気にかからないような体づくりを国民ひとりひとりが意識していくことが大切です。

▼卵子の数を「AMH検査」 出産と キャリアの両立に

THE SANKEI NEWS 2022 年 9 月 17 日

<https://www.sankei.com/article/20220917-PVTQG7UTB5OJNKC2L6AQKTMU/>



自分の卵子がどれくらい残っているか、知ってる？ 採血で妊孕(にんよう)性(妊娠力)の目安となる卵胞数が推定できる「AMH(アンチミュラーリアンホルモン)検査」を、女性社員への福利厚生に導入する企業が広がりつつある。

◎いざ妊娠したいと思ってもなかなかできず不妊治療を受けなければならない女性が増えています。そうなる前に自分の体のことを知ることが可能になり、またその検査を受けやすい社会になってきていることが社会で働く女性にとってありがたいですね。

▼「梅毒」の患者、年1万人を超える恐れ …早期なら注射1回で治療できる新薬も

yomiDr. 2022 年 9 月 17 日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20220905-OYTET50029/?catname=news-kaisetsu_kaisetsu-kikaku_shiritai



性感染症の「梅毒」の患者が増えています。今年は、現在の調査方法となった1999年以降で最多となっています。今年1月には早めの治療ならば1回で完治する新薬が登場しました。早期の検査と治療が大切です。

◎昔の病気で現在は少ないだろうと考えていましたが、確かな理由がわからないまま増加傾向にあるそうです。新薬も登場したことで、早期発見、早期治療でなんとか減少させていきたいものです。

▼川崎市、インフル予防接種を無料化 65 歳以上の市民対象

神奈川新聞 2022 年 9 月 7 日

<https://www.kanaloco.jp/news/government/article-935626.html>



川崎市は 10 月 1 日から年末まで、65 歳以上の市民らを

対象にインフルエンザの予防接種を無料化する。海外では新型コロナウイルス感染症と同時流行し、医療機関の負担が増大しているケースもあることから予防接種を進める狙いがある。

◎国内では新型コロナウイルス感染拡大以降、季節性インフルエンザは流行していませんが、今年はオーストラリアで流行し、両疾患の見分けづらさによる混乱などで医療機関の負担が増えているそうです。

▼埼玉 災害時に ALS 患者の情報共有 命を守るための協定結ぶ

NHK NEWS WEB 2022 年 8 月 26 日

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220826/k10013789401000.html>



埼玉県は、災害時に停電した場合も人工呼吸器をつけた難病患者の命を守るため、人工呼吸器のメーカーと患者の情報を共有して救命活動につなげる協定を結びました。協定を結んだのは、県と、ALS＝筋萎縮性側索硬化症の患者や家族の支援団体、それに 4 社の人工呼吸器メーカーです。

◎停電時に非常用のバッテリーが足りるのかという不安を患者とその家族が感じている状況を受けて結ばれた協定で、災害時に、メーカーが把握した患者の状況を県に連絡し、保健所と連携して必要に応じて消防に出動を求めるなどの対応を行うとのことです。

▼「ユッケ」食べO157 で 90 代女性死亡 宇治の飲食店で購入

NHK NEWS WEB 2022 年 9 月 15 日

<https://www3.nhk.or.jp/news/kyoto/20220915/2010015488.html>



宇治市内の飲食店で購入したレアステーキ、いわゆる「ユッケ」を自宅で食べた 90 代の女性が腹痛を訴えて O157 と診断され、15 日入院先の病院で死亡しました。

◎女性が購入したのは、「レアステーキ」という商品名で販売した生の牛肉、いわゆる「ユッケ」とのことですが、「飲食店でユッケを持ち帰ることなんてあるの?」、と疑問を感じました。調べてみると、飲食店を併設する精肉店、食品スーパーみたいです。再びユッケが身近に食べられる日は来るのでしょうか。

▼100 歳以上が初の 9 万人超、女性が 9 割占める…人口当たりの最多は島根 が 10 年連続

yomiDr. 2022 年 9 月 16 日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20220916-OYT1T50192/?catname=news-kaisetsu_news



厚生労働省は 16 日、全国の 100 歳以上の高齢者が 15 日時点で、前年比 4016 人増の 9 万 526 人になったと発表した。9 万人を超えるのは初めてで、52 年連続で過去最多を更新した。女性が約 9 割の 8 万 161 人で、男性は 1 万 365 人だった。

◎人口 10 万人あたりの人数は全国平均で 72.13 人。都道府県別では、最多は 10 年連続で島根県の 142.21 人。次いで高知(136.84 人)、鳥取(132.6 人)の順で、今の国内最高齢の男性は、広島県在住の 111 歳の方だそうです。



【公式】広島市歯科医師会広報 チャンネル

ぜひご視聴ください
チャンネル登録をお願いします

8月3日放送分

「歯と歯の間の清掃について」

広島市歯科医師会 横村康彦氏

<https://youtu.be/eEsbki5p6Is>



8月17日放送分

「令和版むし歯予防のススメ」

広島市歯科医師会 柄慎太郎氏

https://youtu.be/Y5xSXvNR_sE



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオ

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から

10月5日放送分

「歯科の訪問診療」

広島市歯科医師会 芥川桂一氏

高齢化社会に伴って、健康状態が悪化し、これまでのように歯科医院に通院できない方が増加してきています。歯科受診できないことでお口の中の状態が悪化すると、食事が取りにくくなるだけでなく、健康状態がさらに悪化する危険性があります。今回は広島市歯科医師会の事業も含め、訪問診療について歯科医師の芥川桂一さんが話します。

10月19日放送分

「親知らずは抜くべき？」

広島市歯科医師会 岡崎文彦氏

親知らずは大人の歯の中で最も奥にある歯です。親に知られることなく生えてくる歯であることが名前の由来といわれています。親知らずは必ず抜かないといけないのでしょうか。抜かないといけないケースとそのリスクを、歯科医師の岡崎文彦さんが説明します。

広島市歯科医師会のクリスマスパーティーには歴史があります。

昭和40年12月24日に、県歯会館落成記念パーティーとして6階講堂で開催されていますが、クリスマスパーティーとして開催されたのは昭和46年が最初であると思われます(県歯会館6階講堂にて)。その後しばらく開催されていませんでしたが、昭和53年からは毎年開催されています。

会場は、県歯会館「ハーモニーホール」「広島グランドホテル」「リーガロイヤルホテル広島」などを経て、平成15年からは「ANAクラウンプラザホテル広島(旧広島全日空ホテル)」となり、令和元年まで毎年行われてきました。

以前は、会員による演奏(デンタルフレンドーズ)やじゃんけん大会などさまざまな余興が行われてきましたが、平成15年からは、ホテルのクリスマスディナーショーの前半部分を本会クリスマスパーティーとする形式で行ってきました。この形式は、有名タレントを低コスト(ホテルと折半)で招聘できるなど、本会及びホテル側にも利得のあるやり方で、平成16年の「Mr.マリックディナーショー」においては491名の参加を得るなど、多くの会員、家族、スタッフの年末恒例の懇親の場となっています。

また、寿会を兼ねることで終身会員の先生はご招待しています。加えて、平素休日歯科救急診療に出務いただいている歯科衛生士会のみなさんもご招待するなど、本会だけでなく広島市歯科医療

福祉対策協議会としての福利厚生にも利用しています。

このように多くの方が楽しみにしているクリスマスパーティーですが、新型コロナウイルス感染症の拡大により開催が難しくなりました。令和2年は中止、昨年(令和3年)は、「広島市歯科医師会だより

クリスマス特大号」という形で紙面開催とさせていただきます。

本年はなんとか開催したいと思っておりましたが、「ANAクラウンプラザホテル広島」が今回もクリスマスパーティーを実施しないことから、新たな形式での開催を検討してきました。

そこで今回は、本年9月1日に開業したばかりで、私達には懐かしい旧会館跡地に建設された「ヒルトン広島」でのクリスマスパーティーを企画しました。

本号に概要を掲載しておりますので、ぜひご覧いただき多くの皆様のご参加をお待ちしております。

未だ完全に新型コロナウイルス感染症の収束を見ない中、クリスマスパーティーを開催することの是非については理事会でも協議を重ねましたが、十分な感染対策を取ること、そして感染状況によっては中止・延期を躊躇しないことを条件に開催することとしました。加えて、今回は来賓や衛生士会など本会以外の方は一切お声がけせず、本会会員、家族、スタッフのみを対象として、三密を避けながらもなるべく多くの本会関係者にご参加いただけるよう工夫することとしました。

開催にあたって、もっとも苦慮したことは、ホテルとのキャンセ

会長コラム (第39回)

柔しく剛く

広島市歯科医師会クリスマスパーティーの開催について

熊谷 宏

ルポリシーに関する交渉でした。第7波の感染状況をみても分かるように、感染者数の増加も減少も急激に起こります。従って、最終的な開催の是非は直前に行わざるを得ません。

直前のキャンセルには一定のキャンセル料が発生することは理解しますが、本会としてはなんとかこれを最小限にしたいという立場から、交渉に交渉を重ね、ヒルトン広島には、ほぼ我々の要求通りの条件を受け入れていただけたこととなりましたので、実施を決意した次第です。

今回のクリスマスパーティーは、有名タレントによるクリスマスディナーショーという形式ではなく、RCCの横山雄二氏のトークショーに加え、美味しい料理をゆっくりと召し上がっていただき、大抽選会の景品を例年より大幅に充実させ、参加された皆様にお楽しみいただけるよう厚生部が鋭意準備してくれています。

皆様のご参加をお待ちしております。しかし、前述しました通り感染状況によっては、躊躇なく中止ないしは延期の判断をいたしますので、その件につきましても何卒ご理解の程よろしく願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み

(2022年9月)

新型コロナウイルス感染症対策これまでの経緯(2022年9月1日～9月30日)

世界・日本での経過	2022年	広島市歯科医師会での対応
厚労省 ワクチン接種の担い手 歯科医師など5職種を認める方針 国内累計感染者数 19,245,797人 世界累計感染者数 600,555,262人	9月1日	
厚労省 オミクロン株対応ワクチン接種 早ければ今月半ば開始へ	9月2日	会員相談対応抗原検査キット配布
英 ファイザーなどが開発したオミクロン株対応ワクチンを承認	9月3日	
	9月4日	会員相談対応抗原検査キット配布
Jリーグ 声出し応援 観客制限見直すよう働きかけ	9月5日	
政府 感染者の自宅などでの療養期間を見直す方向で調整 症状ありは7日間 無症状は5日間	9月6日	
加藤厚生労働相 自宅療養者無症状者などの外出制限緩和	9月7日	
松野官房長官 オミクロン株対応ワクチン 職域接種など検討	9月8日	
厚労省 新型コロナワクチン 接種後死亡の2人に一時金支給決定	9月9日	
東京大学医科学研究所の河岡義裕特任教授らのグループ オミクロン株「BA.2.75」に国内承認治療薬の効果確認 国内累計感染者数 20,092,371人 世界累計感染者数 603,711,760人	9月10日	
新型コロナ“第6波”以降 中等症からの死亡が増加 90%近くに	9月11日	
オミクロン株対応ワクチン国内での使用承認 来週にも接種が始まる見通し	9月12日	会員相談対応抗原検査キット配布
WHO テドロス事務局長 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の現状について “終わりが視野に入ってきた”	9月14日	
「全数報告」見直し前に 患者総数把握できるよう医療機関が入力するシステム改修	9月16日	
国立病院機構三重病院の菅秀副院長らのグループ 新型コロナ“妊婦へのワクチン接種で赤ちゃんに抗体”	9月18日	
東京都 オミクロン株対応のコロナワクチン接種始まる 国内累計感染者数 20,781,069人 世界累計感染者数 609,848,852人	9月20日	
厚生労働省専門家会合 感染者数減もインフルエンザとの同時流行懸念	9月21日	
横浜市立大などのグループ 人工透析患者 ワクチン3回接種で抗体が大幅増との研究結果を発表	9月24日	
新型コロナ“感染者の全数把握簡略化”きょうから全国一律開始	9月26日	三役会
塩野義製薬 新型コロナ飲み薬 最終段階の治験で症状改善の効果を確認したと発表	9月28日	理事会 リユースブルガウン無償提供 リユースブルガウン発送準備
山梨県 新型コロナウイルス感染症の後遺症の実態把握で大規模調査実施へ	9月29日	
松野官房長官 オミクロン株対応ワクチン職域接種 10月17日の週から実施も 国内累計感染者数 21,291,840人 世界累計感染者数 613,942,561人	9月30日	リユースブルガウン医療機関に発送

集計元情報：Johns Hopkins 大学、厚生労働省、各自治体 ※以前のは前号参照

9月定例理事会報告

「部外報告」

- 8月25日 歯科医師国保組合理事会
 8月27日 【Web】(県歯)第40・41回合同新入会員研修会
 " 広島市歯科医療福祉対策協議会役員会
 " 【書面決議】広島市歯科医療福祉対策協議会総会
 8月29日 (県歯)新規指導面談
 9月1日 新規個別指導立会
 " (県歯)会員サポート室会議
 9月2日 社会保険診療報酬支払基金再審査
 9月8日 広島市国民健康保険事業の運営に関する協議会
 9月10日 【中止】(県歯)永在会
 9月14日 (県歯)新規指導面談
 9月15日 歯科医師国保組合との協議
 9月17-21日 社会保険診療報酬支払基金審査
 9月20日 広島県国保連合会歯科再審査部会
 9月21-25日 広島県国保連合会歯科審査部会
 9月22日 (県歯)税務指導者協議会
 9月23日 休日診療衛生士会後期打合せ会
 9月24日 神奈川県歯科医師会・歯科医師連盟会館表敬訪問 慰霊碑献花 交流会
 9月25日 【中止】広島市医師会ゴルフ大会
 9月28日 広島市地域防災会議事前説明会

(連盟関係)

「総務関係」

- 8月31日 広島市歯科医師会保険講習会(2回目)
 9月26日 三役会
 9月28日 定例理事会

(慶弔関係)

- 8月4日 広島市学校保健功労者表彰
 東区支部 尾崎昌康先生
 南区支部 佐々木みどり先生
 伊藤良明先生
 西区支部 前田哲也先生
 " 永年勤務学校歯科医表彰
 東区支部 藤範恭弘先生
 8月22日 西区支部 宮迫隆典先生ご逝去

(入会退会関係)

- 8月29日 中区支部 橋本茉衣子先生入会
 8月31日 西区支部 島末一則先生任意退会

(県歯理事会関係)

- 9月1日 (県歯)理事会

(1) 総務部 (森本理事)

- 8月27日 新規指導面談
 " 広島市歯科医療福祉対策協議会役員会
 8月30日 休診レセプト点検
 8月31日 広島市歯科医師会保険講習会(2回目)

- 9月1日 【Web】第1回医療安全推進協議会
 9月2日 社会保険診療報酬支払基金再審査
 9月6日 中区支部説明会(永井亮先生)
 9月8日 (県歯)保険部常任委員会
 9月13日 新規指導面談
 9月14日 定例委員会
 9月17-21日 社会保険診療報酬支払基金審査
 9月22日 (県歯)税務指導者協議会
 9月27日 休診レセプト点検

(2) 学術部 (花岡理事)

- 9月16日 定例委員会
 9月28日 広島市防災会議事前説明会

(3) 厚生部 (谷理事)

- 8月30日 臨時委員会
 9月5日 定例委員会

(4) 地域歯科保健部

- 8月27日 広島市歯科医療福祉対策協議会役員会
 9月16日 定例委員会

<地域保健> (若林理事)

- 8月29日 (県歯)8028 達成者表彰2次審査
 8月30日 (県歯)歯科保健実態調査第2回委員会
 8月31日 (県歯)8028 達成者表彰2次審査
 9月9日 (県歯)8028 達成者表彰2次審査
 " 「元気じゃけんひろしま21(第2次)推進会議」(生活習慣病予防部会及び働く世代健康づくり部会)
 9月14日 (県歯)地域保健部常任委員会
 9月23日 休日診療衛生士会後期打合せ会

<地域連携> (藤田理事)

- 8月25日 西区介護認定審査会
 8月26日 後期高齢者歯科健診個別研修
 8月29日 令和4年度広島市地域包括支援センター運営協議会
 " 令和4年度広島市地域密着型サービス運営懇談会
 9月1日 西区介護認定審査会
 9月8日 西区介護認定審査会
 9月9日 「元気じゃけんひろしま21(第2次)推進会議」(高齢世代の健康づくり)
 9月13日 中広地域包括支援センター認知症カフェ専門職ミーティング
 9月15日 西区介護認定審査会
 " 令和4年度西区災害医療研修会
 9月22日 西区介護認定審査会
 9月28日 愛の家グループホーム矢野西面談

<学校保健> (石田理事)

- 9月7日 「元気じゃけんひろしま21(第2次)推進会議」(次世代の健康づくり部会)
 " 「元気じゃけんひろしま21(第2次)推進会議」(健康づくりを支える社会環

(5) 広報部 (水内理事)

- 8月27日 広島市歯科医療福祉対策協議会役員会
- 9月2日 【Web】校正委員会(だより9月号)
- 9月12日 FMちゅーピー収録
- 9月22日 【Web】情報調査委員会

FMちゅーピー (放送日)

- 10月5日 「歯科の訪問診療について」
広島市歯科医師会 芥川桂一氏
- 10月19日 「親知らずは抜かないといけないの？」
広島市歯科医師会 岡崎文彦氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

ホームページアクセス数
 一般サイト 訪問者 931 (累計 118,383)
 ページビュー 15,105 (累計 1,398,706)
 会員サイト 訪問者 172 (累計 28,361)
 ページビュー 972 (累計 276,574)
 広報部 … Talking Heads<最新情報>
 掲載件数 85件(7/21~8/20)
 LINE公式アカウント 登録者数
 9月21日 118名

(7) 特別委員会(会史等編纂特別委員会)

(8) 救急蘇生委員会

(9) 各部事業計画について

(10) 歯科医療安全相談

- 9月14日 相談 定期健診における節目年齢歯科健診の扱いについて(中区会員)
- ” 相談 節目年齢歯科健診の再診料算定について(南区会員)

「協議事項」

- 入会について(1名)
中区支部の永井亮氏の入会について承認
- 会費について(1名)
終身会員資格取得による会費額変更について1名承認
- クリスマスパーティーについて
詳細協議、継続審議
- 新年互礼会について
継続審議
- バックボードについて
承認
- 休診のお知らせプレートについて
継続審議
- 広島YMCA専門学校講師について
横村康彦氏推薦
- その他
クールビズ9月末で終了のお知らせ

「その他」

特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事水内裕之までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局 E-Mail: hirosshima@dentalpark.net
 広報部担当理事 水内裕之 E-Mail: mizuuchi.shika@gmail.com

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hirosshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : Futaba

本会PASS : 2622662

協議会PASS : welfare

投稿記事締め切りは毎月25日です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

お願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672



広島市歯科医師会は会員の皆様に対する情報提供の一助として会員専用のLINE 公式アカウント(非公開)を開設しました。



LINE 公式アカウント 友達募集中！



「@698zzzkc」で検索

このアカウントは非公開のものです。
広島市歯科医師会会員にのみ配信します。会員のみ登録をお願いします。
登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。

今までの配信内容

6月14日配信	一般社団法人広島市歯科医師会第115回定時総会の開催のお知らせ
7月1日配信	WHITE CROSS Webセミナー(内山茂先生)動画視聴期間延長のお知らせ
9月30日配信	安佐歯科医師会より講演会のご案内「多職種連携講演会」

新規登録時に 管理者側には登録した方の情報は届きません。必ず「自分の名前」「自分の診療所名」を下段のテキストボックスに入れて送信してください。